

## イチジク農業塾 県研究所を視察

竹原イチジク農業塾の塾生4人は10月4日、東広島市の県立総合技術センター果樹研究部を訪れ、イチジク株枯病抵抗性台木を使用した圃場を見学しました。塾生は同研究部の研究員から台木について説明を受け、慣行の自根樹との生育や果実品質におおむね差がない事や成木になると同等の収量が得られる事などを学びました。

J A広島果実連の高本大輔技師は「台木導入に向け知識を習得してもらい、イチジクの安定生産につなげたい」と話しました。



▲イチジク株枯病抵抗性台木に「蓬萊柿」を接いだ苗木の生育状況を見学する塾生

## 規格外の桃でスムージー イベントで大人気

J A三原地域営農経済センターは三原市深町特産の桃を原料にしたスムージー「果実まるごとあらごしスムージー」を発売しました。

7月に販売したメロンに続く商品で、規格外品の桃の果肉を100%使って素材の風味がしっかりと味わえるよう無添加・無加糖で仕上げました。あらごしした果肉のとろりとした口当たりが特徴で、口に入れた瞬間に桃の風味がふわっと広がります。



▲来場者にスムージーを手渡すJA職員

10月13日には、東広島市で開かれたイベント「酒まつりJAふれあい会場」で販売。子どもから大人まで多くの来場者がスムージーを買い求め、約4時間で完売するほどの人気ぶりでした。

## RCCテレビ「つなぐ大地の絆」で 農業への想い語る

J Aグループ広島が提供するRCCテレビ「つなぐ大地の絆」に、尾道市瀬戸田町で柑橘を栽培する渡辺龍太さんと竹原市吉名町でイチジクを栽培する木島榮さん・静子さんが出演されました。



▲【11/14放送】柑橘を栽培する渡辺さん



▲【11/21放送】イチジクを栽培する木島さんご夫婦

番組では、農業に対する想いやこだわり、作業の様子などが紹介されました。

放送された番組は、RCCテレビのHPやYouTubeから視聴できますのでぜひご覧ください。



公式HPはこちらから

## バケツ稲「恋の予感」 待望の収穫に笑顔

三原市立本郷小学校5年生62人は10月24日、JA本郷アグリセンターや本郷地区社会福祉協議会と協力し、5月にバケツに植えた「恋の予感」の収穫とはで干しを行ないました。

児童はJA職員から収穫の手順や精米までの流れを聞き、普段口にする米になるまでの多くの過程を学びました。収穫では同協議会員に鎌の使い方を教わりながら、自分のバケツに実った黄金色の稲を力いっぱい刈り取り、ひもで束ねてはで干しにしました。



▲JA職員から収穫の手順を聞く児童

収穫を終えた堀本涼介さんは「鎌を使うのは難しかったけど楽しかった。収穫したお米をおなかいっぱい食べたい」と笑顔で話しました。

今後は稲わらを使ってしめ縄を作り、米はカレーライスにして食べる予定です。

# なるほどえ~のう! 営農情報

## 水稲

### 令和6年産水稲の振り返り

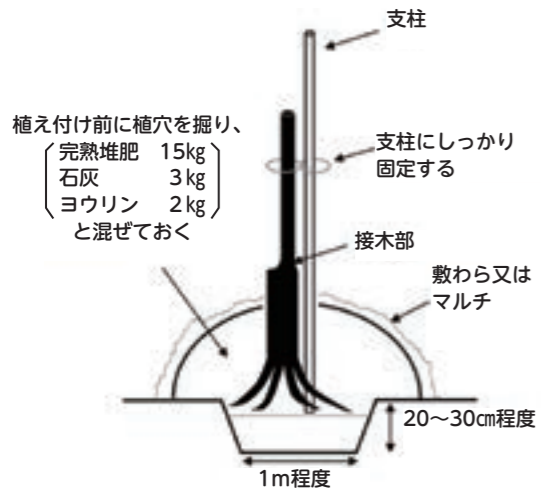
#### 高温障害

今年産米(10月末時点)の約21%が高温や水不足などが原因とみられる白未熟粒や充実度不足により2等以下となっています。

今年、7月下旬から降雨が少ない、高温が続きました。早生品種では出穂期、中生品種では幼穂形成期にあたります。

出穂後20日間の日平均気温が26〜27℃(最低気温23〜24℃)を超えると白未熟粒が発生しやすくなります。今年のように夜間に高温が続く場合は、かけ流しや早朝に入水するなど、圃場内の温度を下げるようにしましょう。

また、けい酸資材を施用し、根張りをよくすることで蒸散量が増し、冷却効果を期待できます。



下旬頃配布予定)。購入した苗木は、植え付けまでに乾かささないように注意します。手順としては、植え付け前に一晩水につけておきます。ただし、それ以上の長時間の浸漬は根腐れするため注意します。事前に準備していた植穴に苗木を植え付けます。植え付け時に、掘りあげの際傷ついた根を軽く切り返して植え付けます。根は四方に広げ、根と土に隙間が出来ないようにしっかりと土で埋め戻します。埋める深さは株元の接ぎ木部がわずかに出る状態が良いです。植え付け直後はかん水を行ない、根と土がなじむようにします。植え付け後、株元から40〜70cmの高さで切り返します。さらに、支柱を立て、風などで倒れたりしないように補強します。地表面に敷わらかポリマルチをして土壌の乾燥を防ぎます。

### 広島果樹専門月刊誌「フルーツひろしま」ご購入のすすめ

「フルーツひろしま」誌は、組合員のみならず果樹関係の営農・栽培技術から、市場への流通情報、県内の身近な産地や県外産地の紹介、研究機関の研究内容など果樹に関係した情報をいろいろと掲載しております。果樹栽培に興味がある方、果樹関係の情報収集に役立てたい方はぜひご購入を検討していただけたらと思います。申し込まれる方は、お近くのアグリセンターへお問い合わせください。



#### カメムシ類

今年産米(10月末時点)の約8%がカメムシ類による斑点米が原因で2等以下となっており、規格外は昨年より3倍以上に増えています。

カメムシ類は、温暖化による越冬数の増加、耕作放棄地の増加、作期分散により地域での一斉防除が難しくなったことから、毎年多くの被害を出しています。

今年、広島県では7月25日付で注意報が発令されました。カメムシ類からの被害を減らすためには、次のよう対策を行なう必要があります。

- ① 出穂10日前までには、畦畔や周辺の雑草の草刈りを終え、カメムシ類の住処を無くす。
- ② 出穂前後の基幹防除を徹底し、多発生している場合は追加防除を行なう。

近年増えているイネカメムシは、出穂前から圃場内へ侵入し、被害が甚大になると、大規模で不稔が発生します。

被害が多い圃場では、出穂前からカメムシ対策剤(スタークルなど)の使用をご検討ください。

水稲に関する情報をお届けします!

LINE

メール配信サービス

#### 整枝・せん定

落葉後、樹液流動が停止してから翌春の樹液流動が始まる前までに整枝・せん定を行ないます。せん定を早く開始すると貯蔵養分を枝とともに切り捨てることになり、時期が遅くなれば樹液の流動が開始され、切り口から樹液が流出し切り口の癒合が悪くなったり発芽が遅れたりするため翌年2月頃までには終了します。

## 柑橘

師走となりました。師走を調べてみると、かつて12月は僧侶が各家を訪れて読経や仏事を行なう時期。僧侶たちが忙しく各地を駆け巡ることから、この月を「師が走る」月という意味で師走と称されたとのこと。現代では師走と言えは1年の最後の月で年末の忙しい季節の到来ということと想像する方が多いと思います。

柑橘の収穫も最盛期の月です。12月は果皮障害の発生が始まります。過熟現象の一つなのですが、腐敗につながるので発生する前に収穫することが重要です。写真を見ながらお読みいただければと思います。温州みかんはヘタまわりにひび割れが発生します。クラッキングと呼ばれるものに多く発生します。はるみは果実の下部に発生します。雨水や朝露の水滴が付着する部分に多く発生します。特に去年は早くから発生しました。しらぬひはヘタ周辺が黒くなります。雨水などがたまった後に発生し落果することもあります。発生前には収穫を終え適正に貯蔵しましょう。何事もなく収穫が終わること、よき年を迎えられますことを心より祈念いたします。



▲しらぬひの果皮障害 ▲はるみの果皮障害 ▲温州みかんの果皮障害

## 家庭菜園

本格的な冬がやってきます。家庭菜園では越冬野菜だけとなり、冬の休閑期に入ります。この時期にしっかりと土づくりを行ない来年の野菜づくりに備えましょう。

### ハンパハン

野菜を栽培するうえで、生育にとっても重要なポイントが土壌の状態です。野菜の根が健全に伸びるには、水はけと通気性が良いことや水持ち(保水性・保肥力)が良いことなどが重要な条件になります。土壌の状態には、「団粒構造」と「単粒構造」があります。



堆肥などを使って団粒構造にすることで空気や水分を適度に含み根がよく伸びますが、その状態も数年野菜をつくり続けることで痩せていき単粒構造となり根があまり伸びなくなってしまう。



畑起こしや堆肥などの有機物の施用の時期は寒い冬の時期が最適です。掘り起こした下層の土を厳しい寒気にさらし風化させることで、物理性が改善されて病原菌や害虫・雑草の種子などを死滅させたり軽減する効果が大きく発揮されるからです。

前作の残渣や病害虫の被害株などをきれいに取り除き、堆肥などの有機物を圃場全面に施用してから耕運しましょう。深耕する場合にはまず畑起こしをしてから、次の耕運時に堆肥などの有機物を施用し耕運するのがポイントです。耕した土はなるべく表面に凹凸があるままにして寒気に触れる面を大きくしておきましょう。

多くの野菜は酸性が中性または弱酸性の土壌を好みます。酸性土壌を改良するには石灰の施用が効果的です。石灰資材には、カルシウムの他にマグネシウムを含む苦土石灰や力キ殻を原料としたサンライムなどさまざまな種類があります。

### 苗木の植え付け手順

JAで落葉果樹の苗木を購入された方は、今月上旬頃に苗木が配布される予定です(いちじくは翌年1月

## 落葉果樹

▶ Information お知らせ

# 親子で農業体験2024

管内の小学生親子を対象に全6回の農業体験を開催しました。農業の楽しさや食の大切さ、食と農のつながりを学んでもらうことを目的に毎年取り組んでいます。今年も沢山の親子にご参加いただきありがとうございました！

5月 田植え



田んぼの泥に足を取られながらも苗が真っすぐになるよう慎重に植えました。



6月 サツマイモの苗植え

親子で協力して1,050本の苗を定植！



トマトを潰さないよう優しく丁寧に収穫！

8月 トマトの収穫



7月 田んぼの生き物調査



田んぼの中の生き物を探し、図鑑で調べました。



10月 サツマイモの収穫

サツマイモを傷つけないように土を掘り、収穫できると大きな歓声が！作業後には焼き芋を食べました！



9月 稲刈り



慣れない鎌に苦戦しながらも稲をしっかりと持ち、一株ずつ丁寧に刈り取りました。



やさふれあい市場三原店・本郷店  
年末年始休業のお知らせ

年末年始は次の期間中、休業させていただきます。  
令和6年12月31日(火)～令和7年1月5日(日)  
ご不便をお掛けしますがご理解・ご協力をお願いします。

## 1月 お知らせカレンダー

※予定が変更する場合があります。ご了承ください。

【アグリセンターの休日】

三原 三原西 本郷 久井 鷺浦 せとだ 竹原

【営業時間】

8:30～17:00

【年金相談会 開催時間】

10:00～16:00

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金
三原	三原	三原	三原	三原						三原	三原	三原				年金相談会	三原	三原						三原	三原					
三原西	三原西	三原西	三原西	三原西						三原西	三原西	三原西				三原西支店	三原西	三原西						三原西	三原西					
本郷	本郷	本郷	本郷	本郷						本郷	本郷	本郷					本郷	本郷						本郷	本郷					
久井	久井	久井	久井	久井						久井	久井	久井					久井	久井						久井	久井					
鷺浦	鷺浦	鷺浦	鷺浦	鷺浦						せとだ	鷺浦	鷺浦					せとだ	鷺浦						せとだ	鷺浦					
せとだ	せとだ	せとだ	せとだ	せとだ						竹原	せとだ	せとだ					竹原	せとだ						竹原	せとだ					
竹原	竹原	竹原	竹原	竹原							竹原	竹原					竹原	竹原							竹原					